

今月の聖句

そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行なう者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。

(マタイによる福音書7章24節－25節)

園長 奥 晋一郎

## 「人生の土台として」

蒸し暑い日が続いています。4月に新学期がスタートし、本日1学期の終業日を迎えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

先月下旬に、足育講座が行なわれました。講師が足育は足と靴の勉強会であること、現在は大人が子どもの足を意識して育てる時代になっていると言っておられたことが印象に残っています。足というのは人間が立って過ごすための土台となります。その土台である足を大切にすること、そのためには正しく足にあった靴を履き、歩いたり、走ったりすることで、よりしっかりと立つことができます。

今月の聖句は、イエスさまが山の上で弟子たちおよび集まっていた人たちに話された言葉です。イエスさまのお話を聞き、行なうこと、すなわち隣人愛が大切で、一人ひとりを大切にし、助け合うことが生きていくための土台になると言われています。

また、土台という言葉は幼稚園にとって、子どもたちにとって大切な言葉です。幼稚園で過ごす全ての活動、規則正しい生活、みんなで遊んだり、助け合って片付けをしたり、食事をしたり、行事をしたり、学年ごと活動など、すべて子どもたちのこれからの人生のために必要なこと、土台となります。幼児教育は成長がすぐに見えないことが多いと言われていますが、一方で社会生活の全ての基礎を作っているともいわれます。子どもたちの心と体が成長するための人生の土台を作っていくために、これからも一人ひとりを大切に保育を行なっていきたいと思えます。